

【平成21年度】

町長と話しませんか開催結果報告書 NO. 1

申込団体名	別海町文化連盟
代表者氏名	会長 今西正視
日時	平成21年10月31日(土) 午後2時30分から午後4時30分まで
場所	役場101・102号会議室
団体参加人数	22名
町側出席者	町長、教育長 教育部長、生涯学習課長、中央公民館館長、東公民館館長 東公民館副館長、西公民館副館長ほか
懇談概要	<p>文化連盟会長、町長、教育長がそれぞれ挨拶の後、懇談開始。</p> <p>文化連盟副会長の司会によりスムーズに進行し、参加者の殆どの方の発言や提案があり、参加者からは「このような会は初めて、毎年開催してほしい」との声もあり、活発な懇談会になりました。</p>  <p>○公共施設の利用料金について (文化連盟発言要旨)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 公民館の利用料金について、文化連盟加入団体は減免され半額、高齢者の団体だと無料と格差がある。・ 公共施設の有料化は世の流れ、使用者のある程度の負担は止むを得ない。・ 老人クラブ等は無料で良いのではないか。・ 他の自治体との比較ではなく、利用者負担は社会通念上普通だと思う。・ プール利用は年間6,300円だが、驚くほど安く納得している。・ 減免制度は維持して欲しい。他の町で新施設建設後に減免制度を廃止したら団体加盟率が激減した例があると聞いている。それでなくてもサークルを維持するのに苦労しているので。 <p>(町長)</p> <p>町の交付税収入等の減により、施設維持管理費用のある程度分は負担いただきたいと考えている。さまざまな要望意見を伺い、応えたいが、可能な部分から検討したいと思っています。</p>

○公民館の整備と中央公民館の建替えについて

・ 中央公民館の建替えスケジュール

はありますか？

- ・ 建替計画がある場合、建設場所の予定はありますか？
- ・ 公民館の中に図書館・資料館機能

は併設できないか？

- ・ 図書館、郷土資料館、ぷらと、マルチメディア館と似たような性格の建物が無計画に建てられており、財政を圧迫しているのではないか。
- ・ 文化の広域化を考え、町内で完結させずに管内という考えをもち、身の丈にあった規模で良いと思う。
- ・ 使い勝手、身の丈を考えればシンプルな施設で良いと思う。



(町長)

身の丈にあった施設という考えは大事だと思う。

既存施設の活用を考えつつ、施設の延命化を図り、住民の意見を良く聞いてふさわしい施設を検討したい。財政難もあり、中央、東西公民館は基本的には当面、修繕しながら延命化を図りたい。中央公民館については検討する時期にきており、財政状態を考慮しながらですが、病院も建設に入っており、それが終了すると特別養護老人ホーム建設が控えており、その後になる見込みと思っています。

教育委員会の担当課に指示し、検討にかかっていますが時期については決定していません。

(教育長)

計画では10年後に建設としていますが、中央公民館は老朽化が進み早まる動きになっています。担当課長に検討させており、財源の見込みがつけば決定可能と思います。

建設予定場所については、現在の病院と中央公民館の場所が交通の便等を考慮すると良いと思うが、交通量や面積を考えると郊外の町有地を構想している。

(文化連盟発言要旨)

- ・ 中央公民館ホール、会議室の床の傷みがひどい。
- ・ 中央公民館の建替えがまだ先なのは残念だが、修理して安全に使用できるようにしていただきたい。ステージの床も痛んでおり、袖の部屋も物置化していて危険だと思います。

(町 長)

最低限の修繕は必要と思う。危険がないよう、検討のうえ対応させます。

(文化連盟発言要旨)

- ・ 文化活動は公民館活動と表裏一体です。今後も安心して活動できるよう町の支援をお願いしたい。
- ・ 公民館は年配の人が集まる施設のイメージが大きい。
若い世代にも魅力ある活動やサークルが必要と思う。いくら立派な施設を建てても無駄になると思う。
- ・ 古いものも大事に。修理出来るものは修理して、利用できるものは他町の施設も利用したほうが良い。

(町 長)

発言のとおりと思います。若い世代に公民館活動の中で、郷土の文化・歴史が引き継がれなければならない。

協力できるものは町としても支援していきます。現代は地域の力が弱くなっており、文化活動による地域の活性化は、文化連盟が重要な位置を占めていると思います。

町づくりは人づくりと、教育長、副町長とも常に話しています。人材の育成と文化振興に我々も努めて行くし、文化連盟に大いに期待しております。



町長と話しませんか開催結果報告書 NO. 2

申込団体名	別海町商工会 青年部
代表者氏名	部長 村 上 徹
日 時	平成 21 年 12 月 4 日（金） 午後 6 時から午後 7 時まで
場 所	別海町交流館 ぷらと 第 1 会議室
団体参加人数	27 名
町側出席者	町長 産業振興部長 総合政策課長
懇談概要	<p>青年部長の開会挨拶に続いて、町長挨拶後に懇談会開始。</p> <p>（青年部） 合併についてどのように考えているか？</p> <p>（町 長） 合併についての考えはない。</p> <p>（青年部）ドクターヘリの運行状況は？</p> <p>（町 長）8回です。</p> <p>（青年部）大型店舗の建設に伴う宮舞町との接続道路についてはどのように なっているか？</p> <p>（町 長）大型店舗側で道路建設の予定あり。</p> <p>（青年部） 魅力あるまちづくりに向けて町のPRが必要であり、その為「別海町の観光大使」の認定などはどうか？</p> <p>（産業振興部長） 現在、「観光案内人」や「観光大使」などを育てる必要があると考え、町で検討しているところ。</p> <p>（青年部）来年度以降、商工会に対して何か行っていただけるか？</p>



(町 長) 公共事業などが大幅に削減されている状況の中、今の時点で「何をどうする」とは言えない状況である。



(青年部)
政権交代となった今、町政として、自衛隊予算など変更点などはあるか？

(町 長)
現時点では不明である。

(青年部) 新病院建設に伴い医療体制はどのようになるか？

(町 長)

今と同じ診療体制となる。1階は診療、2階は入院、3階は院長室などで、今の施設と比べると約1.5倍の広さになる。

(青年部) プレミアム商品券について、今後も継続して欲しい。

(町 長) 検討する。



(青年部)

仕事の関係で「茨散沼」や「兼金沼」を案内することがあるが、草が伸びている状況である。草刈はどのようになっているか？

(産業振興部長)

草刈などは行ってない。今後の検討が必要である。

町長と話しませんか開催結果報告書 NO. 3

申込団体名	別海町立上春別中学校	
代表者氏名	校長 近藤 基司	
日 時	平成 22 年 3 月 8 日 (月) 午前 11 時 25 分～12 時 15 分	
場 所	別海町立上春別中学校	
団体参加人数	生徒 6 名、先生 4 名 計 10 名	
町側出席者	町長 教育部長 総合政策課長、総合政策課企画振興担当主査、主任	
懇談概要	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>○町長挨拶 (自己紹介を含めて挨拶) この「町長と話しませんか」を開始して、中学校からの申し込みは初めてで、皆さんとの懇談を大変楽しみにしています。</p> <p>～役場職員、自己紹介の後、懇談開始～</p> <p>(中学生から挨拶)</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="width: 400px;"> <p>今日は、私達の町づくりの学習のために来ていただきありがとうございます。私たちは今日まで「協働の精神」に基づき、話し合いを行ってきました。</p> <p>今日は、私達の計画について、町長さんの意見やアイデアを聞き、さらに学習を深めていこうと思います。よろしくお願いいたします。</p> </div> </div> <p>(発表係) ～案を絞るまでの経緯と案の発表～</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1 自分たちに出来ること、やってみたいことを案として出し合った。</p> </div> <p>○植 樹 ⇒ 環境に良い。木がなかったら寂しい。 色々な人に良い印象を与えられる。CO2 を削減できる。 世界各地で切られた分をここで植える。</p> <p>○ゴミ拾い ⇒ 道路脇に最近ゴミが多く見られるから。 景観を損なう。きれいな町は人気が出る。</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  </div> </div>	

- 公園作り ⇒ 町民がふれあう場を作ったほうが良い。
みんなが集まる場所が欲しい。
- 花植え ⇒ 上春別をきれいにしたい。人に良い印象を与える。
みんなが笑顔になると思う。
- 牛乳料理 ⇒ 他の地域の人に別海町の良さを知ってもらいたい。
- ミルクランドグッズ ⇒ 今、売られているグッズ以外に新しく作って売
ってみたい。
- 祭りを増やす ⇒ 人がふれあう場を作りたい。
引きこもりをなくす。
- 道路脇に巣箱を設置 ⇒ 自然を取り込みたい。自然を身近に感じたい。
- 動物園を作る ⇒ 人が集まると思う。
- 特産物に関する行事 ⇒ 色々な人に別海町を知って欲しい。
- 医療施設 ⇒ ちゃんとした病院が遠いから。
- 草刈 ⇒ 景観を損なう。
- 自転車ロード ⇒ 自然を身近に感じられるから。
- 雪を利用する ⇒ いつも雪が余る。歩道に小さい雪だるまを作れば良
い。



2 中学生として、自分たちのこととして出来るもの

- 植樹
- ゴミ拾い
- 花植え
- 牛乳料理
- 道路脇に巣箱を設置
- 雪を利用する

ゴミ拾いは既にやっているなのでゴミ拾い以外の5つとなった。

「人を集める」「別海町の良さ」という視点から

- 植樹
 - 牛乳料理
 - 雪を利用する
- の3つになった。

具体的な内容

- 植樹 ⇒ 桜、紅葉、イチヨウ、りんごの木、寒さに強い木を歩道脇
に植える。
公園など人の集まる所に植える。
- 牛乳料理 ⇒ 全国の牛乳料理を調べて実際に作り、
産業祭などの祭りで販売、又は無料配布。
レシピを来た人に配布する。
- 雪を利用する

⇒ キャンドル、小さい雪だるまを歩道に、雪像を道路わきに設置。

問題点とそれに対する改善策

○植 樹

【問題点】

- ・ 広い場所が必要。許可を取るのが大変。費用がかかる。並木の周りが鳥の糞だらけになる。

【改善策】

- ・ 小さい木を植えたら良い。



○牛乳料理

【問題点】

- ・ 場所確保が大変。材料費がかかる。売れ残りはどうする？

【改善策】

- ・ 調理場所を貸してもらう。家庭で余っている牛乳を集める。売れ残りを協力してくれた人に差し上げる。

○雪を利用する

【問題点】

- ・ ロウソクなどの材料費がかかる。雪像が崩れたら危険。毎日、毎日手間がかかる。人手が多数必要。作るのに時間がかかる。

【改善策】

- ・ 家庭を回り「もう使わない」というロウソクを集める。
- ・ 一定のスペースを空けたら安全。車道から少し離れた場所に作る（雪像）

以上をふまえた上で多数決をとり、町長さんと話す案が決めた。
今回話し合う案は、「牛乳料理」である。

(中学生からプロジェクト内容の発表)
私達の別海町まちづくりプロジェクトでは、
牛乳料理です。



この計画の目的は

「牛乳の生産量日本一である別海町を、
牛乳料理を通して、たくさんの人に知ってもらおう。」です。

具体的内容は、

- ・ 産業祭などでの牛乳料理の提供。
- ・ 牛乳料理のレシピは、来た人に配布する。

具体的計画は、

- ・牛乳料理を聞き込み調査や、インターネットで調べていこうと考えています。
- ・役場、保健所へ許可申請をしようと思います。保健所への許可申請はしないといけないそうです。
- ・役場や上春別連合町内会などへの呼びかけをして、多くの人に広めたいと思います。

仕事内容は、

- ・牛乳回収、調理、買出し、提供、調査、許可申請です。
- ・牛乳回収は、牛乳が余っている家庭からもらいたい。
- ・調理は、その場で作りながら提供しようと思います。
- ・買出しは、予算が付き次第ですがはっきりしていません。
- ・提供は、販売又は無料配布どちらにしようか迷っています。材料費ぐらいは、もらってもいい。売る苦勞を知ってもらいたい。お金をもらうなら「まごころ」を入れて作って欲しい。



- ・調査は、聞き込み調査やインターネットで調べようと思っています。
- ・許可申請は、さっきも言ったように役場や保健所へ許可申請をしようと思います。

(町長)

これまでの議論はすばらしく、みんなが「まちづくり」について真剣に考えてくれたことが伝わる。また、中学生の皆さんが第6次別海町総合計画の将来像である『笑顔あふれる豊かさ実感のまち』に向けた取組みをし、中学生の立場として考えてくれたことに感心している。



これからみんなは、日本の色々なところに飛び立っていくと思うが、これからもこの気持ちを持ち続けて欲しい。

今回、提案のあった全ての事項をやってもらいたい。

最終的に「牛乳料理」となり、これについては、最近、牛乳消費が減少してきているので、この取組みは牛乳消費拡大にもつながり、多くの人達に牛乳の食べ方、飲み方を広めて欲しい。

雪の利用についても、発想がすばらしい。「キャンドル」や「雪だるま」があると暖かい気持ちになれる。

植樹の場所についても、それぞれの団体などに相談することで、場所も見つかるかもしれない。



(中学生から質問)
牛乳料理を販売すべきか無料配布にするか迷っています。

(町長)

材料代ぐらいは、お金を取っても良いと思う。物を売る大切さの勉強にもなる。PRの工夫、美味しさの追求、安全面の心配りが必要となる。

(中学生から質問)

乳業興社は、どのような貢献をしているのですか。

(町長)

昔、別海町で生産される牛乳は、バターや脱脂粉乳などに加工され、飲用乳として飲むことが出来なかったことから、「別海町全ての人が飲めるように」と乳業興社(当時、酪農工場)を創り、乳幼児からお年寄りまで別海町で生産される牛乳を飲めるようになった。また、学校給食の牛乳として飲めるようになった。



乳業興社は、別海町で生産される乳製品を通して「別海町」を全国の皆さんに知ってもらうことができる「町の基幹産業の象徴的な施設」として貢献している。

(中学生から質問)

乳業興社では、牛乳の消費量を増やすためにどのようなことを行っていますか？

(町長)

物を売るのは難しく、いろんなインパクトが必要。すばらしい牛乳が原料だから、すばらしい乳製品ってことをPRしたりする。今は安心・安全ってこともアピールしつつ、全国の人にすばらしいってことを知ってもらう努力をしている。

(町長)

～講評として～

みんなで十分に討論して決定したことなので、これを是非、実行して欲しい。「考え、取り組んで行くことが大切」失敗を恐れず進んで欲しい。

みんなが作った牛乳料理を食べた人々の笑顔が見られるよう、みんなを応援したい。

(中学生から挨拶)

今日の話し合いでは、牛乳料理についてだ



けではなく、他の案に対する意見ももらう事が出来たので良かったです。今まで悩んでいた販売をするのかどうかも意見をもらい解決出来て良かったです。物を買ってもらうためには色々な努力をしなければならないという事も学ぶ事が出来ました。今日は本当にありがとうございました。

